

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年3月10日～2016年3月16日)

平成 28 年(2016 年)3 月 18 日

H E A D L I N E S

政治

ベニス委員会, ポーランドの憲法情勢に関する意見書を採択
 下院, ブワシュチャク内務・行政相への不信任決議案を否決
 ヴァシチコフスキ外相, ボスニア・ヘルツェゴビナ外相と会談
 ポーランドのNATO加盟17周年に際する記念行事
 マチェレヴィチ国防相の政務専用機墜落を巡る発言にロシア政府が反発
 ヴァシチコフスキ外相, EU外務理事会に出席
 マチェレヴィチ国防相, ラトビア国防相と会談
 ドウダ大統領, チェコを訪問
 マチェレヴィチ国防相, カナダ国防相と会談

経済

児童手当の経済効果
 地方自治体での児童手当実施促進
 金融機関税は銀行融資等にマイナス効果
 商業施設税導入案は未だ協議中
 年金受給年齢引き下げは2017年目処に導入
 金融政策委員会がモラヴィエツキ・プランを承認
 AIBB批准法案が下院通過
 2月のコア・インフレ率
 2月の倒産件数
 政策金利は1.5%で据え置き
 ポーランド造船業への支援計画案まとまる
 ポーランド政府がEUのCO2削減目標の引き上げに反対する決議を採択
 エネルギー大手三社が石炭企業KWへの支援を表明
 ポーランドの人口の22%が60歳以上

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて
 パスポートダウンロード申請書のご案内
 海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ
 東日本大震災義捐金受付について
 大使館広報文化センターの臨時休館のお知らせ
 文化行事・大使館関連行事

読者からのお知らせ

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

政	治
内	政

ベニス委員会、ポーランドの憲法情勢に関する意見書を採択【12日】

12日、欧州評議会・ベニス委員会は、ポーランド国会による憲法法廷に関する法改正が同法廷の効率性を弱め、民主主義、人権及び法の支配を損じるものである等の批判的な見方を多く含む意見書を採択した。

これを受けて、13日、ポヘネク政府報道官は、ベニス委員会の意見書は拘束力のある文書ではないが、政府は同意見を検討する、シドウウォ首相は下院の全ての政党が政治対立を解決するための共同作業を行うべく、同意見を下院に送付することを決定した旨述べた。下院は、専門家チームを発足させて本意見書の精査を行う予定。

なお、同13日、ワルシャワ市内にて、市民団体・民主主義擁護委員会(KOD)及び野党「近代」(.N)主催の「憲法秩序を回復しよう」と題するデモが実施された。

下院、ブワシュチャク内務・行政相への不信任決議案を否決【16日】

16日、下院は、野党・市民プラットフォーム(PO)が提出したブワシュチャク内務・行政相に対する不信任決議案を反対239票、賛成177票、棄権27票で否決した。POは、ブワシュチャク大臣が警察の監督を然るべく行っていないとの理由で同不信任決議案を提出していた。

外交・安全保障

ヴァシチコフスキ外相、ボスニア・ヘルツェゴビナ外相と会談【10日】

10日、ヴァシチコフスキ外相は、ポーランドを訪問中のツルナダク・ボスニア・ヘルツェゴビナ外相と会談し、二国間関係、ボスニア・ヘルツェゴビナのEU加盟に向けた取り組み及びNATOとの協力等につき意見交換した。ヴァシチコフスキ外相は、ポーランドはボスニア・ヘルツェゴビナのEU統合路線を支持している旨述べた。

ポーランドのNATO加盟17周年に際する記念行事【11日】

11日、ポーランドのNATO加盟17周年に際する記念行事がワルシャワ市内で開催され、ヴァシチコフスキ外相、マチェレヴィチ国防相、ソロフ国家安全保障局長官等が出席した。

マチェレヴィチ国防相の政務専用機墜落を巡る発言にロシア政府が反発【12日】

12日、マチェレヴィチ国防相は、トルンにおける学術会議にて、我々はスモレンスク(の事故)によって現在の諸紛争における最初のテロの大きな犠牲者となった旨述べた。これを受け、14日、ロシア大統領報道官は同国防相の発言は客観的でなく根拠がない旨述べ、ロシア外務省は同発言がロシア・ポーランド関係の弱体化を目的としたものであるとの内容を含む声明を発出した。

ヴァシチコフスキ外相、EU外務理事会に出席【14日】

14日、ヴァシチコフスキ外相は、ブリュッセルにおけるEU外務理事会に出席し、対ロシア関係、イラン

及びリビア情勢、中東和平プロセスに関する議論に参加した。ヴァシチコフスキ外相は、ロシアが国際社会に対抗し、国際社会の秩序を変えようとしている点につき共通の認識を共有した旨述べた。

マチェレヴィチ国防相、ラトビア国防相と会談【14日】

14日、マチェレヴィチ国防相は、ポーランドを訪問中のベルグマニス・ラトビア国防相と会談し、NATOワルシャワ首脳会合に向けた協力、NATO東方地域情勢等につき意見交換した。マチェレヴィチ国防相は、ポーランドとラトビアの連携はNATO東方地域の効果的な防衛のために極めて重要である旨述べた。

ドゥダ大統領、チェコを訪問【15日】

15日、ドゥダ大統領は、訪問先のプラハにてゼマン・チェコ大統領と首脳会談を行い、二国間関係、エネルギー安全保障、NATOワルシャワ首脳会合、外交課題につき意見交換した。ドゥダ大統領は、会談後に、ポーランド国内情勢に関連して、ゼマン大統領が全ての国は国内問題を主権の枠内で解決すべきであると明確に発言したことに感謝する旨述べた。

マチェレヴィチ国防相、カナダ国防相と会談【15日】

15日、マチェレヴィチ国防相は、ポーランドを訪問中のサージン国防相と会談し、NATOワルシャワ首脳会合に向けた準備、欧州安全保障情勢、二国防衛協力等につき意見交換した。両国防相は、東方地域からの脅威及びウクライナ支援の重要性等につき共通の認識を確認した。

経 済

経済政策

児童手当の経済効果【16日】

中央銀行(NBP)分析によれば、児童手当の導入による国内消費増等で2016年・2017年のGDPは3.8%まで伸びるが、2018年には景気刺激効果が薄れ成長率は3.4%に下がる見込みとのこと。

地方自治体での児童手当実施促進【14日】

シドゥウオ首相は地方自治体との会合で、4月1日導入予定の児童手当「500プラス」プログラムは経済成長を喚起するとして、各自治体に対して遅延なき実施を求めた。政府は地方自治体に対して本件実施のために6,100万ズロチを支援予定で、来週から関係省庁が地方自治体の準備状況を確認に回るとのこと。

金融機関税は銀行融資等にマイナス効果【16日】

中央銀行(NBP)分析によれば、金融機関税の導入により銀行のサービスにかかるコスト増と貸し出し条件の厳格化が見込まれ、銀行からの貸し出しにマイナスの影響が生じる。

商業施設税導入案は未だ協議中【16日】

コヴァルチク閣僚評議会常設委員長は、ラジオのインタビューで、商業施設税を累進課税にするか一律課税にするかについては未だ協議中であり、一律課税にした場合小規模商店等による脱税の可能性

が危惧されるとした。

年金受給年齢引き下げは2017年目処に導入【16日】

ラファルスカ家族・労働・社会政策大臣が Dziennik Gazeta Prawna 紙で述べたところによれば、男性65歳、女性60歳への年金受給年齢の引き下げは2017年導入予定なるも、法案が未だ議会で第一読会を終えたところであり、制度の変更に9ヶ月を要することから正確な導入時期は未定とのこと。

金融政策委員会がモラヴィエツキ・プランを承認【10日】

モラヴィエツキ開発大臣は、2月に発表した今後25年間のポーランド経済成長戦略「モラヴィエツキ・プラン」を中央銀行金融政策委員会が承認したと発言。開発省は同プランは中期戦略の形で6月末から7月にかけて準備されると述べている。

AIIB批准法案が下院通過【11日】

アジアインフラ投資銀行(AIIB)加盟のための批准法案が11日に全会一致で下院を通過。AIIBは2015年6月に北京で調印、10月に駐中国ポーランド大使が本件加盟のための文書に署名した。加盟後はポーランドはAIIBに対して出資率0.8%にあたる8.3億ドルを出資予定。

マクロ経済動向・統計

2月のコア・インフレ率【16日】

中央銀行(NBP)によれば、2月のコア・インフレ率(変動の大きい食料・エネルギーを除いたインフレ率)は対前年同月比マイナス0.1%で1月から大きな変化なし。

2月の倒産件数【16日】

輸出信用保険公社(KUKE)によれば、2月の倒産件数は47件と1月の48件からほぼ変わらず。昨

年同月の58件からは大きく減少している。

政策金利は1.5%で据え置き【11日】

中央銀行金融政策委員会は11日、政策金利を1.5%に据え置くことを決定。2015年3月以降この金利が維持されている。今後数四半期は低インフレ状態が続くものの、失業率の低下による需要増、賃金増に支えられたコア・インフレ率の上昇が見込まれるとしている。

ポーランド産業動向

ポーランド造船業への支援計画案まとまる【14日】

海事経済・河川交通省と財務省は、造船業に対する支援策を盛り込んだ法案をとりまとめた。同法案では、法人所得税(CIT)や付加価値税の優遇措置や経済特区の拡大等を主な柱としている。同省では、2017年初の施行を目指すとしている。

エネルギー・環境

ポーランド政府がEUのCO2削減目標の引き上げに反対する決議を採択【15日】

ポーランド政府は、欧州委員会の温室効果ガス40%削減目標の一層の引き上げに反対する決議を採択した。この中で、昨年12月のCOP21におけるパリ合意では各締約国の目標を掲げていないことを踏まえ、EU目標が引き上げられる根拠にはならないと述べている。

エネルギー大手三社が石炭企業KWへの支援を表明【15日】

PGE、Energia及びPGNiGの三社は、コンパニア・ヴェングロヴァ社(KW)の移行先として設立されるポーランド炭鉱グループ(PGG)への出資に関心があると表明した。三社合計で15億ズロチの融資の準備があるという。

その他

ポーランドの人口の22%が60歳以上【15日】

中央統計局(GUS)によると、2014年のポーランドの人口は3,850万人であったが、このうち22%以上の850万人が60歳以上であった。1989年の14.7%以降、この割合は拡大している。同時期の若年層(19歳以下)の割合は30%から18%に12ポイントも下落した。

大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて

大使館は、3月15日(水)15時から19時までの間、HOTEL Mercure Wroclaw Centrum内、会議室(pl. Dominikanski 1, Wroclaw 50-159)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/wroclaw.shucchou2016.pdf>

パスポートダウンロード申請書のご案内

来年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されます。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

大使館広報文化センターの臨時休館のお知らせ

3月9日(水)～31日(木)の間、改修工事のため、広報文化センターを臨時閉館させていただきます。4月1日からのご来館、お待ちしております。

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話：22-584-7300, Eメール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

〔開催中〕現代日本の工芸展【3月1日(火)～5月15日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、国際交流基金巡回展、「現代日本の工芸展」が開催中です。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/exhibition/64>

【予定】日本人形展【3月20日(日)~6月26日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本人形展が開催されます。

開催場所: マウオポルスカ県, クラクフ市, 日本美術技術博物館, ul. M. Konopnickiej 26

詳細: <http://manggha.pl/>

【予定】第7回世界松涛館空手選手権大会【4月1日(金)~3日(日)】

ビドゴシチ市にて、武士道ビドゴシチ・スポーツ協会主催による『第7回世界松涛館空手選手権大会』が開催されます。

開催場所: ポクヤヴィ=ポモージェ県, ビドゴシチ市, ul. Toruńska 59

詳細: <https://www.facebook.com/events/1693542447542010/>

【予定】ポーランド相撲選手権 大会【4月2日(土)】

ワルシャワ市にて、ポーランド相撲連盟主催による『ポーランド相撲選手権大会』が開催されます。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, ul. Poezji 5

詳細: <http://sumo.org.pl>

【予定】ドルノシロンスキエ県数独選手権大会【4月2日(土)】

ヴロツワフ市にて、ヴロツワフ工業大学主催による『ドルノシロンスキエ県数独選手権大会』が開催されます。

開催場所: ドルノシロンスキエ県, ヴロツワフ市, ul. Janiszewskiego 8

詳細: <http://wmat.pwr.edu.pl/sudoku,231.dhtml>

【予定】柔道選手権大会「Same Judo カップ」【4月3日(日)】

マルキ市にて、サメ柔道クラブ主催による柔道選手権大会『Same Judo カップ』が開催されます。

開催場所: マゾフシェ県, マルキ市, ul. Duża 3

詳細: <http://samejudo.pl>

【予定】百射会【4月9日(土)】

ミシャドウォ市にて、ポーランド弓道連盟主催による『百射会』が開催されます。

開催場所: マゾフシェ県, ミシャドウォ市, ul. Kwiatowa 28

詳細: <http://kyudo.pl>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)